

# 好きやねん湖東

第19号



## 祝



成人代表の挨拶をする西澤啓太さん



## ご成人おめでとう



恩師を囲んで



お母さんたちの協力もありました



## まちづくりは 今年も元気いっぱい

宮部 東近江市議会議長 と まちづくり協議会 谷川 委員長 が語る

谷川：あけましておめでとうございます。

今回、議長に就任されて、何か変わりましたか？

議長：議会を代表する立場ということで、責任の重大さを痛感しています。

また、いろんな所へ出かける機会が多くなり忙しい日々を過ごしています。



谷川：議長の立場から見て、東近江市の中で湖東地区の位置付けを、どのようにお感じですか？

議長：湖東地区の素晴らしい歴史や自然、豊かな特色を大いに生かし、湖東町時代のまちづくりのパワーを継続発展させながら、「元気都市、東近江市」を引っ張るリーダー的存在であり続けていただきたいと思います。

谷川：まちづくりの基本は何だと思いますか？

議長：ズバリ「まちづくりは、人づくり」だと思います。

湖東地区は、「近所付き合い」がよいことが自慢できると思います。

「近所のことなら、自治会のことなら、地区のことなら」そう考える人づくりをすることが大切だと思います。

市民自らが、主役となって地域に愛着を持ちながら、まちづくりの担い手となって行動することが大切だと思います。

谷川：まち協には、何を期待されますか？

議長：今、自治体を取り巻く環境は一層厳しくなっています。

そのような中、まち協では、資源ゴミの回収で自主財源を確保したり、地区のイベントの運営に加わることで、人のつながりの輪を広げてもらったりしています。

これからも、まちづくりの基本となる「人づくり」・「人と人の結びつき」の強化を図って頂き、各種団体と連携を図りながら、地域の特色を一層盛り上げ、育んでいただきたいと思います。

谷川：湖東地区の皆さんにまちづくりアンケートを実施しました。

結果をご覧になって、今後のまちづくりに対して、活動の助言をお願いします。

議長：「湖東に住み続けたい」と望まれている方が、8割もおられる事は、私も湖東地区の住民として、大変誇らしく思います。

アンケートの中では、市民の環境問題に対する関心の深さや、青少年の健全育成に高い関心を示されていることが、ポイントになると思います。

谷川：まちづくりに、住民が積極的に関わってもらうには、どのようなアピールが必要でしょうか？

議長：アンケートからも、湖東に住み続けたいと望まれている市民が大勢おられます。

これからのまちづくりの主役は、市民であるという意識づくりが大切だと思います。

湖東のまち協も設立からまだ1年半です。運営委員さんのご苦労は回り知れませんが、「地域の課題は、地域自ら解決する」ことを念頭において活動していただきたいと思います。

谷川：市内14地区すべてのまちづくり協議会がスタートしますが、活動内容などの競争をするのではなく、それぞれの地区の個性を活かした取組みを進めることが大切だと思います。

今年は、さらに活動の担い手を増やし、湖東地区まちづくり計画の推進に努めたいと考えています。

議長のみますますのご活躍を期待しております。

(高野・野村)

楽しく、笑顔いっぱいのイベントをありがとう

## Melody & Harmony クリスマスコンサート

12月16日(土)クレフィール湖東で、障害をもつ子の保護者や甲良養護学校の教員、滋賀県立大学生のボランティアサークルなどで作る Melody & Harmony 主催のクリスマスコンサートが行われました。第1部では、フルートトリオにソプラノを加えたミルフィーユ・カルテットの演奏による心和らぐひと時を過ごし、第2部では、西アフリカの太鼓“ジャンベ”を演奏する wawa wewe によって、参加者みんなで踊りだし、笑顔がいっぱいの会場となりました。

参加されたお母さんからは、「私たち障害をもつ子の親にとって すごく充実した時間を持てたことは、本当に嬉しく思います。私は、長男が生まれてから、コンサートはもちろん 娯楽的なことには ほとんど行けずあきらめていました。今回は、落ち着いて子どものことを気にせず、ゆったり時間を過ごせたことは、本当に良かったです。また、なかなか、この様な場に連れてこれなかった子どもと一緒に楽しむことが出来、笑顔が見られたことは何より嬉しいです。ありがとうございました。」

と、感想をいただきました。(国領、福田)



Melody : 甲良養護学校に通う子ども達の有志の保護者と教員からなる作業所作り準備会

Harmony : Melodyの活動を支援する滋賀県立大学の学生ボランティアサークル

## 地域だより

### 地域教育協議会って何？

今回は、会議の場所を第二学区内の各町を巡回させている、第二学区地域教育協議会の会議におじゃましていただきました。

今回は、11月に河辺いきものの森で行われたイベントの反省会とその際の写真を小学校で展示するための貼り付け作業をされているところでした。

第二学区で活動されて3年目を迎えられる地域の方々が、子どもたちとのふれあいを通して生き生き活動されている姿に感動しました。

教育問題については、今、地域で何をすればいいのか考えるよい機会と考え、シリーズ「地域教育協議会って何？」を今後も取材させていただくことにしました。(板倉、福田)



## にゆ〜いえいす

駆け抜けろ！

中嶋聖善  
さん

立命館大ランナー



今月号は、立命館大学3回生の中嶋 聖善 さん(中一色町在住)をご紹介します。

中嶋さんは、陸上競技の選手で、長距離走のロードとトラックの選手として活躍されています。

昨年の県民体育大会の5千メートル走では見事第1位となり、また出雲全日本大学選抜駅伝、全日本大学駅伝にも出場されるなど、最近、注目を集めている選手です。

今年の目標を尋ねますと、「6月に開催の全日本インカレ 3千メートル障害の優勝と全日本大学駅伝の入賞です。」と力強く語っていただきました。

今後のさらなる活躍をご期待します。(西澤、福田)

## 大正琴「湖東タートルズ」

1月5日、練習中にも関わらず、快く取材に応じて下さいました。  
「昭和63年に、農協の大正琴講座の万年学生のみなでこの会を始めました。タートルは、英語で亀のことです。私たちは、走るのではなく、マイペースをモットーにしているので、亀の仲間ということで、タートルズと名付けました。現在11名の会員で、平均年齢は72歳です。華やかな舞台衣装を着て、演奏できることが、とても楽しいです。会員は、誰も認知症になっていないので、大正琴は認知症の予防になるのではないかと思います。」  
と、笑顔で語って下さいました。



また、この会を教え初めて11年になるという松居講師は、「指導している立場なのに、逆に皆さんからパワーをいただいているように感じます。」と、にこやかに話して下さいました。

定例練習は、月2回。発表は、いろいろなところで、演奏をされています。この日は、1月8日の初弾き会で、ラヴァーズコンチェルトを演奏されるため、特別に練習されていました。

私は、初弾き会を聴きに行けなかったのが、残念でしたが、『一緒に弾いてみませんか』とのお誘いがあります。

初心者、歓迎とのことですので、連絡されてみてはいかがでしょうか。

詳しくは、45-2383 磯部さんまで。（福田・板倉）

# がんばっています

## “2007年 20歳のつどい 実行委員” を紹介します

12月18日、実行委員会の会議におじゃましました。  
実行委員をしていて楽しい？って、尋ねると、すぐに「ハイ！」と返事をいただきました。

以下は、皆さんからの感想です。

- ・実行委員会を開くのに、みんなの時間が合わなくて、困っています。
- ・20歳のつどいの後に、同窓会をするので楽しみです。
- ・来年度、成人式を迎える皆さんは、実行委員会のスタートを早めにした方が良くと思います。

（今年度は、11月頃から実行委員会を始められたそうです。）

- ・実行委員会がないと、20歳のつどいは開催できないよ。

まちづくり協議会は、実行委員からの依頼を受けて、会場準備・片付けと、ボランティアのお母さん方と協力して、軽食作りを手伝わせていただきました。

来年度は、あなたの力を、ぜひお貸してください（〇）

実行委員長 西澤 章裕

小川 一鷹	西澤 啓太
藺田 雄貴	澤島 渉
高野 恭平	青山 大地
松村 重興	北浦 貴大
戸島 彩織	小川 利恵
小川 梨紗	西河 彩恵子



**今年のつどいの参加者は、なんと 対象者の90%と 毎年よいたくさんの参加がありました**

### <編集・発行>

湖東地区まちづくり協議会

(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町 505 番地

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570

E-mail : k-machikyo@koto-ken.jp

### 編集後記

まちづくりアンケートにご協力ありがとうございました。  
結果は、まとまりたい皆さんにご報告します。

今年も、皆さんとともに、この情報誌を作成していきたい  
と思います。

皆さんからの情報提供をお待ちしております。

